

2026年1月29日
和歌山県みなべ町
東洋ライス株式会社

和歌山県みなべ町と東洋ライス株式会社の包括連携に関する協定締結について
～金芽米を活用した健康増進、食育推進、農業振興～



左からみなべ町長 山本秀平、東洋ライス株式会社代表取締役副社長 阪本哲生

この度、和歌山県みなべ町（町長：山本秀平、以下「みなべ町」）と東洋ライス株式会社（代表取締役社長：雑賀慶二、和歌山本社：和歌山市、以下「東洋ライス」）は、町民の健康増進や食育の推進、農業振興、災害時支援等を通じて地域活性化を目的とした包括連携協定を令和8年1月29日付で締結しました。

具体的には、令和8年度から町立こども園等の給食での「金芽米」の導入や、災害時の支援を実施するほか、今後、農業振興における米の精の活用も検討していきます。

※「金芽米」は、東洋ライス独自の加工技術によって、ビタミンやミネラルなどの滋養源である玄米の栄養を残したまま、美味しく、消化性に優れたコメです。一般的な精米加工ではヌカと一緒に取れてしまう、栄養と旨味成分が含まれる「亜糊粉層(あこふんそう)」を表面に残すことで、ほのかな甘みを感じられるのが特徴です。近年では、金芽米等の継続摂取による健康への効果を実証し、論文発表されています。

※「米の精」は、金芽米(BG 無洗米)の加工時に取り除かれた肌ヌカ(とぎ汁の元)を製品化したもので、100%米由来の有機質土壌改良剤です。優れた成分バランスを保有しており、土中の微生物の働きを活性化させることで土壌が肥沃化し、良質な味の作物が育ちます。また、有機肥料として稲や野菜に仕様されるほか、家畜の飼料としても利用されており、持続可能な循環型農業の実現を目指しています。

本協定では、以下の取り組みを推進します。

1. 健康増進に関すること。
2. 食育に関すること。
3. 防災に関すること
4. 農業振興に関すること。
5. 情報発信に関すること。
6. 地域活性化に関すること。
7. その他本協定の目的を達成するために必要と認める事項に関すること。

【みなべ町の概要】

みなべ町は和歌山県のほぼ中央に位置し、海、山、川の豊かな自然に恵まれた町です。南部川流域に広がる丘陵地では、日本一のブランドを誇る「南高梅」の栽培が盛んに行われており、多くの観梅客の賑わいを見せるとともに、加工産業も町の経済の柱となっている、「梅の町」です。

山間部では、最高級品である紀州備長炭の生産が盛んに行われ、また、イワシ漁などの沿岸漁業もさかんに行われております。

面積 120 km²

人口 11,429 人(2025 年 3 月時点)

梅の生産量日本一 28,200 トン(2023 年度)

【東洋ライスの概要】

- ・設立=1961 年（昭和 36 年）・資本金=1 億円
- ・事業内容=金芽米、金芽ロウカット玄米、B G 無洗米の加工・製造・販売、精米機器の開発・製造販売その他
- ・和歌山本社所在地=和歌山県和歌山市黒田 1 2
- ・電話番号=073-471-3011 ・URL = <https://www.toyo-rice.jp/>